

<長野県観光機構主催>  
新たな観光振興を考える  
フィールドワーク

---

# 自己紹介

- わたしが興味を持っている内容
  - 所属している専攻は『**コミュニティ構想**』専攻
  - コミュニティ構想専攻とはコミュニティを構想するための社会科学を『**観光**』をツールとして学ぶ

地域の人たちが観光を通して、どのような策で町を興しているの  
またその共同体がどのようなものか。

# 事前に長野県に持っていたイメージ

- 今まで長野に行ったことができなかったのも、「軽井沢」という一言のイメージしかなかった。
- 軽井沢といっても……



田舎



別荘

という印象だった。

# 実際に来てみて気づいたいいところ

- それぞれの地域の特徴が違う  
ex.軽井沢と千曲市
- 「五感」で地域の特徴を感じ取れる  
ex.千曲市では硫黄のにおいがした
- 東京から案外すぐ行ける  
ex.新幹線で約一時間





# 発見した課題

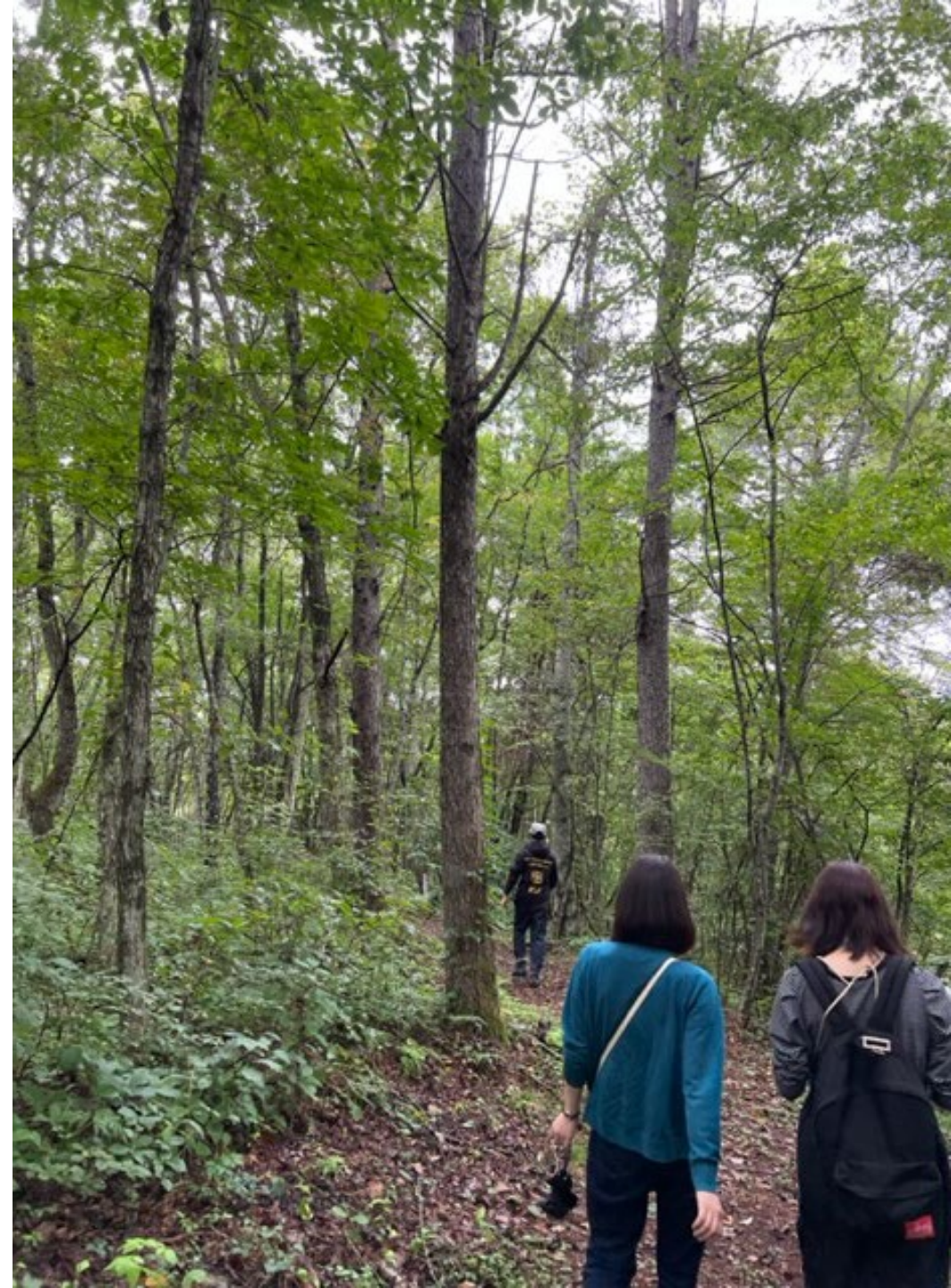
Shinano Railway 中軽井沢駅発車時刻表  
 Timetable of Naka-Karuzawa Sta.

上り 軽井沢方面【1線】 To Karuzawa, Departure from Train No.1		下り 小諸・上野・長野方面【2線】 To Kamohara, Utsunomiya & Nagano, Departure from Train No.2	
5		5	
6	06 47 <sup>分</sup>	6	23 <sup>分</sup>
7	20 <sup>分</sup> 51 <sup>分</sup>	7	05 <sup>分</sup> 46 <sup>分</sup>
8	32 <sup>分</sup>	8	18 <sup>分</sup> 59 <sup>分</sup>
9	03 <sup>分</sup> 41 <sup>分</sup>	9	40 <sup>分</sup> 54 <sup>分</sup>
10	32 <sup>分</sup>	10	04 <sup>分</sup> 54 <sup>分</sup>
11	15 <sup>分</sup>	11	34 <sup>分</sup>
12	32 <sup>分</sup>	12	14 <sup>分</sup>
13	12 <sup>分</sup>	13	04 <sup>分</sup> 44 <sup>分</sup>
14	02 <sup>分</sup> 36 <sup>分</sup>	14	34 <sup>分</sup>
		15	11 <sup>分</sup>
		16	41 <sup>分</sup>
		17	04 <sup>分</sup>
		18	06 <sup>分</sup>
		19	30 <sup>分</sup>
		20	21 <sup>分</sup>
		21	04 <sup>分</sup>
		22	20 <sup>分</sup>
		23	09 <sup>分</sup>
		0	

- アクセスが悪い  
 →20代の人たちは限られた時間の中で色々なところに行きたいかも？
- 良い人がたくさんいるのにどこか内向的に感じる  
 →宣伝力が足りない？

# 様々な体験を通して記憶に残っていること

- 軽井沢の森林散策の際の「**五感**」で感じることの重要性
  - 人間は8割視覚に頼っている & 人間は聞きたくないことは聞こうとしない
- 「おせっかいハウス昭和の寅や」の女将である清水さんとの会話
  - 店の人気をSNSなどで100を1000にすることはできるが、**100を101、102に継続する**のはとても難しい。（一次的な話題を作るよりも少しずつファンを獲得し続けるのが難しい）



# 観光全般に対して自分が貢献できそうなこと

- 人生で初めて長野県に降り立ったことで、一番新鮮な気持ちでたくさん魅力を発見できた  
→ うまく発信する手助けをする ex. 家族や心を許せる人に自分の口で宣伝

いろいろな人を"つなげて"町をよくする





## あったらいいなこんな 取り組み

- しなの鉄道のアクセスをもっと円滑にしたい

理由：今の若者は短期間で色々なところに行きたい傾向があるため

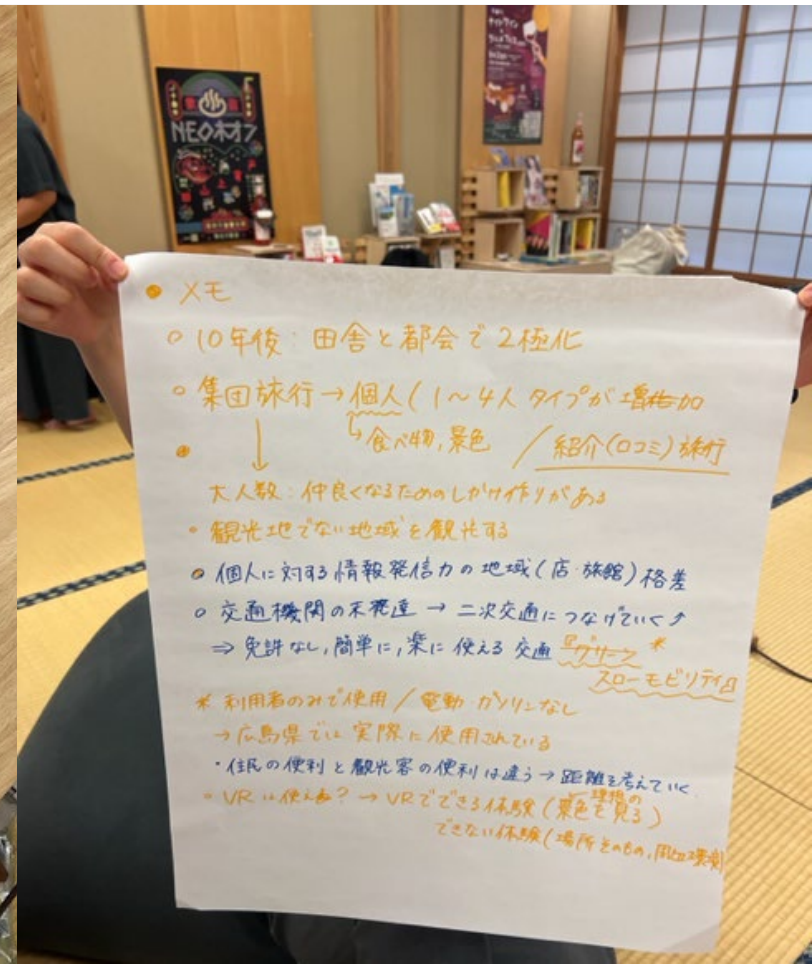
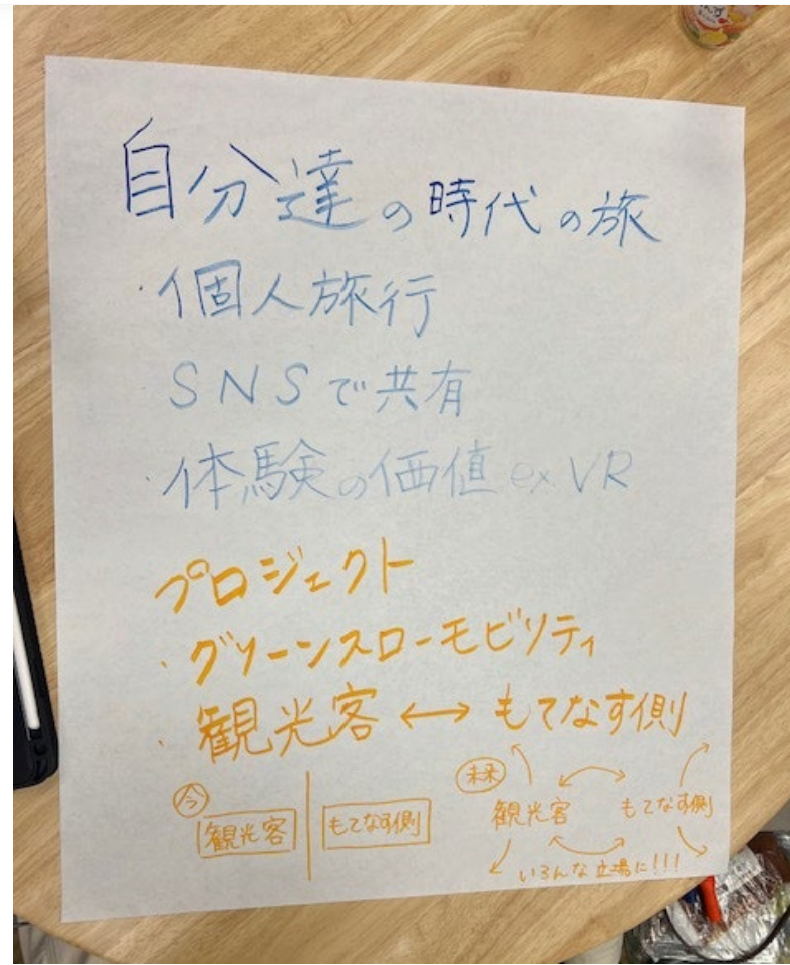
- 市公認のまとめサイトを開設する

理由：公認かつ一つのサイトにまとめれば団体客でも女性の一人旅でも安心して楽しめるため



# 自分たちの時代の旅のありかた

- 昔と比べ、集団旅行よりも食べ物や景色を楽しむことを目的とした**個人旅行**が主流になってくる
- その場所の視覚イメージをつかめる**VR技術の発展**により、十分すぎる下調べが可能になり、理想の景色を見ることが出来る
- 観光客も“**もてなす側**”になる  
ex. 現地での農業体験を通して消費者から生産者になる



# 長野県で実現して欲しい観光プロジェクト

- 交通機関の未発達→二次交通に繋げたい
- 免許を持っていない人々でも使える交通機関を作るべき

そのためには…住民との距離も問われる？

グリーンスローモビリティ  
(ガソリンなしの自動車)

広島県では実際に使われている！



[https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.city.mitoyo.lg.jp%2Fkakuka%2Fseisa-ku%2Fkoutsuu%2F4\\_1%2F11199.html&psig=AOvVaw0hzhShW5LDrlJeXdT-0FX2&ust=1695739527911000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CBIQjhxqFwoTCPiF550AxoEDFQAAAAAdAAAAABAE](https://www.google.com/url?sa=i&url=https%3A%2F%2Fwww.city.mitoyo.lg.jp%2Fkakuka%2Fseisa-ku%2Fkoutsuu%2F4_1%2F11199.html&psig=AOvVaw0hzhShW5LDrlJeXdT-0FX2&ust=1695739527911000&source=images&cd=vfe&opi=89978449&ved=0CBIQjhxqFwoTCPiF550AxoEDFQAAAAAdAAAAABAE)

# 参考文献

- 三島市役所(閲覧日2023年9月24日)

[https://www.city.mitoyo.lg.jp/kakuka/seisaku/koutsuu/4\\_1/11199.html](https://www.city.mitoyo.lg.jp/kakuka/seisaku/koutsuu/4_1/11199.html)